

心腎連関を理解する

身体的健康とは、各臓器が正常に機能し、互いに均衡を保っている状態であると言えます。各臓器は程度の差こそあれ相互に作用し合い、互いに均衡を保っています。各臓器が正常に働かないとももちろん臓器間の均衡は保たれませんが、逆に、臓器同士が適切にクロストークしなければ、個々の臓器の機能を正常に維持することはできません。

身体的健康を網羅的に評価するためには、1つの臓器に着目するだけでなく、臓器間のクロストークを意識した俯瞰的な視点が重要になります。臨床検査、とりわけ、全身を駆け巡った体液が主な検査対象になる検体検査ではなおさらです。

本特集では、“心腎連関”を取り上げました。身体的健康に最も大きな影響を与えているといっても過言ではない“心腎連関”ですが、その概念が注目されるようになったのは意外と最近のことです。心臓と腎臓の精巧かつ緻密な生理学的連関について理解を深めていただければと思います。

山内一由(筑波大学医学医療系)